

日本共産党の赤嶺政賢議員は18日の衆院本会議で、昨年末に策定された「国家安全保障戦略」について、「積極的平和主義」などと偽りの看板を掲げ、集団的自衛権の行使にひた走る姿勢は、異様な時代逆行そのものだ」と批判。安倍首相は「平和的解決が重要なことはいうまでもない」としながら、集団的自衛権行使容認の検討を進める姿勢を示しました。

と な み

旗 赤 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代 180
Tel 33-6118

【重税反対砺波地区実行委員会】

税務署長あて要望提出

十三日には全国五八〇

ピールを採択。

カ所十四万人が重税反対
全国統一行動に参加。全
国に呼応し十四日、重税
反対砺波地区集会在開か
れました。民主商工会か
らの報告をうけ、農民連、
年金者組合、民商の各団
体から切実な実態を訴え
る発言がありました。日
本共産党からは多田ひろ
かず前市議が連帯あいさ
つしました。

「四月からの消費税増税
中止、社会保障改革推進
法の廃止、秘密保護法の
撤廃、大企業減税・T P
P・原発再稼働に反対、地
域循環型経済で国民生活
の改善」を訴える集会ア

参加者は集会后、税務

署までパレードを行い、

集団申告。また、さまざま

な実例をふまえ、税務

署長あて「税制と税務行

政に関する要望書」を提

出しました。

○ ○ ○ ○

税制・財政に関しては、

労働者の賃金は一九九七

年度をピークに七〇万円

減少、異常な金融緩和は

庶民に恩恵はなく、円安

による燃料、原材料。生

活必需品の高騰が家計と

中小企業を苦しめている

なか、消費税増税一〇兆

円（輸出還付金二兆円控

除前）、社会保障の負担

増・給付源の合計で十二

兆円の負担増は、国民の

暮らしに大打撃を与え、

日本経済を壊し財政を悪

化させる「悪循環」を深

めるだけとして、「消費税

増税中止」「大企業・富裕

層に応分の負担を求め

ること」「所得税の課税最低

限を生活保護基準の水準

まで引き上げること」「消

費税の免税点を三千万円

に戻すこと」などを要望。

○ ○ ○ ○

税務調査に関しては、

「日本国憲法と申告納税

制度を守り、税務運営方

針を全職員に徹底するこ

と」「事前通知について

①事前通知は、法律通り、

税務署長の書面で行うこ

と②通知は少なくとも二

週間前に行うこと③事前

通知の例外規定について

任意調査において、憲法

が保障する適正手続きの

観点から事前通知は無条

件に行うこと」「調査理由

を開示すること」「事前の

反面調査、本人の承諾の

ない反面調査は信用失

墜・営業妨害になるので

やめること」「納税者本人

が同意している立会人を

排除しないこと」などを

要望。

○ ○ ○ ○

記帳義務化に関して、

中小零細業者の取引慣行

や営業実態に即した記

帳、保存記録を尊重する

ことを求めています。

○ ○ ○ ○

滞納処分に関して、①

生きることを優先する税

務行政、②一括納付が困

難な納税者の相談に対

し、積極的に納税緩和措

置を周知し、適用するこ

と、③「納税誓約書」は

法定文書ではないので、

提出の強要をやめるこ

と、④誠実に分納してい

る納税者に対して、一括

納付や先日付小切手を強

制しないことを要望。

赤旗日曜版を読んで

(三月十六日号)

これが南京大虐殺(18面)

「南京大虐殺はなかった」

：また、こういう意見が全

面に出てきている。都留文

科大学名誉教授の笠原氏は

「歴史学的にも確定した事

実です。それを否定したが

るのは、南京事件が日本の

中国侵略戦争を象徴する出

来事だからです」と語る▼

歴史的な出来事を表す写真

のなかには、違った写真が

使われたりして、そのこと

を示して「なかった」と主

張されることもある。とり

わけ、ある意図をもってね

つ造しようと思えば、それ

なりの物を揃えることも可

能でしょう▼しかし、それ

で事実が無くなるわけでは

ありません。南京大虐殺を

調査している小野さんが入

手した三十冊超の陣中日記

の記述は全て事実じゃない

のでしょうか？▼犠牲者数

は十数万〜三十万人以上と

幅があり、正確な数の解明

は不可能といえます。しか

し、そのことで虐殺そのも

のがなかったというのは

★間違った戦争に加担して誰が責任を取るのか：自民党は17日、国会内で総務懇談会を開き、安倍晋三首相が強硬姿勢を強める集団的自衛権の行使容認について議論し、出席者からは「党内論議なくして閣議決定に至ってはいけない」という慎重論が相次ぎました。

【ただのつぶやき】

いでしよう。

12日 市議会常任委員会を傍聴

石川県立大学の滝本先生にお願ひしていた小水力発電の可能性調査(鷹栖口用水)がまとまり、新年度に報告会予定とのこと。可能性に期待します。

産業建設、民生病院、総務文教それぞれの委員会でさまざまな質問等が出ますが、「どういった意図で質問されているのかしら?」と思われれることも。本会議も常任委員会も傍聴できまですので、時間のとれる方はぜひ傍聴されるとよいと思います。

13日 梅原司平さん

安居の上田美術さん喫茶&ギャラリー「燕」で梅原麦子さんの布絵展を知人が企画(十三〜三十日まで)。初日に夫のシンガーソングライター梅原司平さん(富山県出身)がミニコンサートを開くというので行きました。「折り鶴」(♪生きていて良かった)という歌は聴いたことのある人も多

うたごえ喫茶を富山市で開き、時代の流れとともに閉店せざるをえず、それでも歌で生きていくことを選択。コンサートは地域やホスピス、少年院。そして半分近くは学校といひます。エピソードや子どもたちの感想文などが紹介されました。どれも感動的で、あらためて「歌の力」を感じました。私も生で何曲もじっくり聞くのは初めてであり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

あ、メインは麦子さんの布絵展ですからね!(「上田美術」南砺市安居一五五・電話〇七六三二二四〇〇六)

14日 重税反対砺波地区集会

いま、暴走を続ける安倍政権にたいし、賃上げ・春闘勝利、消費税増税中止、医療・年金・介護など改悪反対、震災からの復興、原発ゼロ・再稼働反対、環太平洋連携協定(TPP)交渉撤退、秘密保護法撤廃・憲法改悪反対をはじめ、たかいた盛りがあっていま

す。各分野でのたたかいと要求運動を大きく発展させる重要な結節点として、3・13国民大行動を成功させ、安倍政権の暴走を許さないたたかいを大きく広げようではありませんか。と、連帯のあいさつをさせていただきました。

基調報告で一九七八年、大平内閣の「一般消費税」からの歴史が示され、そのことが自身の歴史と重なりました。その年、大学に入り、学内で開かれた学習会

は「一般消費税」に「有事立法」、「教育問題」：戦争にむかうカネ、制度、そして「人」づくり：現在の状況と重なります。あきらめないで声をあげつづけなければダメですね。

17日 出中卒業式

とりあえず下の子も卒業です。お世話になったみなさん有り難うございました。

18日 県立高校合格発表

無事受かったようで安心。(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-3369-8216)

【続きんの日記】

望を語る事のできない無力さを感じました。

17日 土曜日に我が富山県農民連が企画している「これはすごい!コシヒカリの有機栽培 十ニ俵取り」(コメの栽培研修会)の案内に何人かの農業仲間を訪ねました

しかしそこで話題になったのは、研修会の内容ではなく、これから富農をどうして行ったらいいのだろうかという不安や悩みでした。昨年末に唐突に打ち出された政府の「農政改革」が重い影を落としているのです。ちゃんと富農を続けていけるのかという大元のところが心配で、栽培方法の研修どころでないといった風でした。

安倍総理は硬い岩盤をドリルで砕くのだと意気込んでいますが、壊しているのは、真面目に農地を耕して地域を支えている農民の意欲と夢じやないのかと怒りが込み上げてきます。もつと規模を大きくして会社経営になったら農業が魔法をかけたように蘇ると本当に信じているのでしょうか?条件が不利でも赤字経営でも、今年も頑張ろうと種まきの準備をしている農家がたくさん居ます。引き継いだ農地を守りたい、みんなと地域を支えたいと必死です。そういう人たちに夢や希望を与えられない政策に農業の再生ができるはずがありません。